

8-4-40 アセットマネジメント専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の設置

当専門委員会は、主に土木インフラを対象としたアセットマネジメントの社会実装の推進に関する調査・研究及び成果の発信・普及を活動の目的として、令和3年度に新たに設置された。

専門委員会活動を推進するにあたり、三つのワーキングを設置して活動している。

(2) 専門委員会の開催

委員会は11回開催した。

(3) 令和5年度マネジメントセミナーへの参画

a) セミナーの概要

- ・開催日：令和5年10月4日（水）
- ・場所：赤坂 ICC からライブ配信（見逃配信あり）
- ・聴講者数：1,000名（アンケート回答者）

b) 講演名：第5講「アセットマネジメントの社会実装に向けて ～ メンテナンスからマネジメントへ ～」

c) 講演概要

- ・昨年度のセミナー報告内容を振り返ったうえで、今年度実施した自治体アンケート結果に基づき、インフラメンテナンス推進における自治体が抱える課題を整理し、その現状を報告した。
- ・そうした現状を踏まえた上で、建コンが果たすべき役割、とるべき方向性を解説した。具体的には、アセットマネジメントは骨太方針にも位置付けられていると解釈されることから、建コンはメンテナンスからマネジメントへの取り組み・実装を積極的に進め、アセットマネージャーとしての役割も果たすべきとの見解を諸外国の事例を踏まえて解説した。
- ・また、アセットマネジメントの社会実装を、業界全体で推進するためのプラットフォームとして準備を進めている「ベストプラクティス集」、「建コンサービスのカタログ集」並びにその解説書とも位置づける「提言書」を取りまとめていることを報告した。

d) 講演後のアンケート結果

内容に関して「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が98%、説明に関する評価は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が91%と非常に高い評価を得た。

(4) ワーキング活動概要

a) 社会実装 WG

アセットオーナーに対するアセットマネジメントの有効性の理解促進により市場拡大を図ることを目的として、インフラメンテナンス国民会議と連携して自治体向けアンケートを令和4年度に引き続き2回目を行い、その結果を受けて自治体ヒアリングを実施し、アセットマネジメント推進上の課題や建コンへの期待等を調査した。

b) 外部情報収集・発信 WG

アセットマネジメントに関する動向や国内外の社会実装されている事例を調査・整理し、アセットオーナーや事業者へ情報発信することで意識啓発を図ることを目的として、令和5年度は、国内外の動向調査を実施し、ベストプラクティスを集めたWebサイトを構築している。

c) 市場拡大 WG

建コンとしてのアセットマネジメントへの関わり方、将来像を見据えて総力結集し、建コン主導で市場拡大を図ることを目的として、令和5年度は、会員企業向けアンケート結果を踏まえた建コンサービスをカタログ化したWebサイトの検討を進め、併せて提言書を取りまとめている。

(5) その他の活動

「インフラメンテナンス国民会議」の実行委員として藤原 副委員長が、国土交通省「地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会」の委員として水野 委員長が参加している。

2. 次年度の活動について

令和6年度は設置した三つのワーキングの活動結果を取りまとめ、市場拡大に向けた提言書を完成させたい。

(アセットマネジメント専門委員会委員長

水野 高志)